

# 児童ポルノ被害防止へパトロール

サイバー防犯ボランティア「KC3」の大学生たちが、7月9月に児童ポルノ被害防止のための集中パトロールを実施。インターネット上に投稿されたわいせつ画像など計456件を見つけた。

KC3は2011年に県警の呼び掛けで発足。現在は、熊本学園大、県立大、崇城大、東海大の4大学の学生68人が、有害情報の監視などを続けている。活動を通じ、啓発活動にも取り組む。



児童ポルノなどの被害防止のため、有害情報がないかインターネット上のパトロールをするKC3の大学生たち＝崇城大

集中パトロールは毎年実施。情報をもとに県警が捜査に乗り出すケースもある。7月には、自分のわいせつな画像をツイッターで公開したとして、児童買春・ポルノ禁止法違反（公然陳列）の疑いで女子高生を摘発した。ボランティアの情報が立件につながるのは全国的にも珍しいという。

今年は夏休み期間中に計4回実施。延べ60人が、会員制交流サイト（SNS）の投稿などをチェックした。456件の大半はわいせつ画像などの投稿。1割ほどが制服姿などで援助交際を求める未成年とみられる書き込みだった。SNSの管理者に削除を要請し、そのうち200件の削除が確認できたという。

来春から県警に就職する崇城大情報学部4年の米満晃さん（22）は「SNSが悪用されている中で、被害防止に貢献したい」とパトロールに取り組んできた。警察官としてサイバー犯罪を防ぐ仕事をしてみたい」と話していた。（藤山裕作）